



(所在地) 鷲洲二丁目一五 妙壽寺内

墓碑 萩原廣道



【碑文】

(正面) 萩原廣道之墓

(裏面) 文化十二年乙亥二月十九日生

文久三年癸亥十二月三日卒

萩原廣道は江戸後期の国学者（一八一五〜一八六三）。

備前岡山の人。文政十一年、藩内の国学者平賀元義に作歌を学ぶ。

弘化二年（一八四五）三一歳で脱藩し大阪に移住、はじめ京町堀で国学を教授したが、生活に困窮し、筆耕や書籍の編集の手伝いをした。『源氏物語評釈』で知られ『てにをは係辞弁』『小夜時雨』『古言訳解』『本学提綱』等の著がある。